

ご使用前に必ずお読み下さい

痛みに速く効く

ロキソニン®S

頭痛・生理痛



このお薬は？

販売名	ロキソニンS LOXONIN S
一般名	ロキソプロフェンナトリウム水和物 Loxoprofen Sodium Hydrate
含有量(1錠中)	68.1mg (無水物として 60mg)
医薬品分類	第1類医薬品

このお薬の効果は？

- このお薬は、非ステロイド性消炎・鎮痛剤(NSAIDs)と呼ばれるグループに属する、解熱鎮痛薬です。
- このお薬は、痛み・炎症・発熱の原因物質「プロスタグランジン」の生成を抑え、痛みをやわらげ、熱を下げます。
- このお薬は、次の目的で服用いただけます。
 - 頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・腰痛・関節痛・神経痛・筋肉痛・肩こり痛・耳痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
 - 悪寒・発熱時の解熱

このお薬を実際に服用する前に、確認すべきことは？

- 本剤は、痛みや熱等の原因になっている病気そのものを治療するものではなく、発現している症状を抑えるお薬です。したがって、**症状がある場合だけ服用して下さい。**
- 1~2回服用しても症状が一向によくない場合は、他の疾患の可能性がありますので服用を中止し、説明文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい。
- 長期連用しないで下さい。**  **3~5日間服用しても痛み等の症状が繰り返される場合には、服用を中止し、医師の診療を受けて下さい。**
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。
アスピリン(アセチルサリチル酸)、アスピリンアルミニウム、エテンザミド、イブプロフェン、アセトアミノフェン及びイソプロピルアンチピリンを配合している他の解熱鎮痛薬、かぜ薬及びアリルイソプロピルアセチル尿素、プロモバレリル尿素を配合している鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないで下さい。
【アルコール摂取時の服用は避けて下さい。服用後2時間以内のアルコール摂取は避けて下さい。】

このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？

- このお薬のような解熱鎮痛薬を服用した後、過度の体温低下、虚脱(力が出ない)、四肢冷却(手足が冷たい)等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には、直ちに服用を中止し、説明文書を持って医師又は薬剤師にご相談下さい。 
- このお薬を服用した後、消化性潰瘍(胃もたれ、胸やけ、背中痛み)、むくみがあらわれた場合には、直ちに服用を中止し、説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。

このお薬を服用する前に、確認すべきことは？①

次の人はこのお薬を服用することはできません

- 15歳未満の小児
- 過去に本剤又は本剤に含まれる成分でアレルギー症状等の過激な反応を起こしたことがある人
- 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
【ロキソプロフェンナトリウム水和物、アスピリン(アセチルサリチル酸)、アスピリンアルミニウム、エテンザミド、イブプロフェン、アセトアミノフェン及びイソプロピルアンチピリンが配合されている解熱鎮痛薬やかぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人】
- 医療機関で次の治療を受けている人
 - 胃・十二指腸潰瘍 ●肝臓病 ●腎臓病 ●心臓病
- 医師から以下のような血液異常(血液の病気)を指摘されている人
 - 赤血球数が少ない(貧血)
 - 血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)
 - 白血球数が少ない
- 出産予定日12週以内の妊婦

上記にあてはまらない方



このお薬を服用する前に、確認すべきことは？②

次の人はこのお薬を服用する際に注意が必要です。購入される前に医師、歯科医師又は薬剤師にご相談下さい。

- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- 妊婦(出産予定日12週以内の妊婦を除く)又は妊娠していると思われる人
- 授乳中の人
- 高齢者(65歳以上)
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 次の診断を受けた人
 - 気管支ぜんそく ●潰瘍性大腸炎 ●クローン病
 - 全身性エリテマトーデス ●混合性結合組織病
- 次の病気にかかったことがある人
 - 胃・十二指腸潰瘍 ●肝臓病 ●腎臓病 ●血液の病気

